

## おくすりQ&A

### インクレチン製剤について

2009年から2010年にかけて、従来の糖尿病薬とは異なる働きで血糖値を下げる作用をもつ**インクレチン製剤**が承認・販売されるようになりました。

#### Q. インクレチンとは何ですか？

A. 食事をすると、小腸の細胞の一部が刺激されて、消化管ホルモンが分泌されます。消化管ホルモンの中には、すい臓のβ細胞を刺激してインスリンの分泌を増加させる「インクレチン」と呼ばれるものがあります。インクレチンには**GLP-1**と**GIP**というホルモンがあり、インクレチン製剤はGLP-1の体内での働きに着目して開発された**2型糖尿病薬**です。

#### Q. GLP-1は体内でどんな働きをするのですか？

A. GLP-1が食事による刺激によって小腸から分泌されると、すい臓のβ細胞に作用してインスリンの分泌を増加させます。GLP-1によるインスリンの分泌は、血液中のブドウ糖量に依存しているため、血中ブドウ糖濃度が80mg/dl以下では起こらないとされています。さらにGLP-1にはインスリンの分泌を促進する作用のほかに、①**血糖値を上昇させるホルモンであるグルカゴン分泌抑制**、②**胃内容排出の遅延**、③**満腹感の促進と食事摂取量の抑制**、および④**動物モデルではβ細胞量の維持・増加**などがあります。

#### Q. インクレチン製剤の種類について教えてください。

A. インクレチン製剤には、経口薬の**DPP-4阻害薬**と、自己注射薬の**GLP-1受容体作動薬**があります。

##### <DPP-4阻害薬（経口薬）>

GLP-1は分泌された後、血中にあるDPP-4という酵素によって速やかに分解されて、効果を失ってしまいます。DPP-4阻害薬は、GLP-1を分解するDPP-4の働きを妨げることでGLP-1の濃度を高め、血糖を下げます。

##### <GLP-1受容体作動薬（自己注射薬）>

DPP-4による分解を受けにくく製剤化した自己注射薬です。そのため、長時間にわたってGLP-1の働きが維持されるようになっています。

インクレチン製剤は、食事療法と運動療法に加えて従来の糖尿病薬を使用しても、血糖コントロールが不良な方への効果が期待できます。インクレチン製剤の登場によって、糖尿病治療戦略の幅が大きく広がると予想されています。

執筆薬剤師 三溝 学

# わたらの健康とくすり

第213号



## 今月の内容

- 慢性閉塞性肺疾患（COPD）はどんな病気？
- 地域包括支援センターをご存知ですか？
- インクレチン製剤について

### ツルドクダミ（タデ科）

つる性で葉の形がドクダミに似ていますが、ドクダミとは全く関係がありません。中国から薬用として渡来したのですが、今では各地で野生化しています。肉質の太い根を「何首烏（かしゅう）」といい、強壮や育毛などを目的に使われます。生薬名は、「何」という人がこの根を飲んだところ、若返って首（頭）の白髪が烏のように黒くなったという中国の話に由来します。

写真・文 指田 豊

2013年10月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹

東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

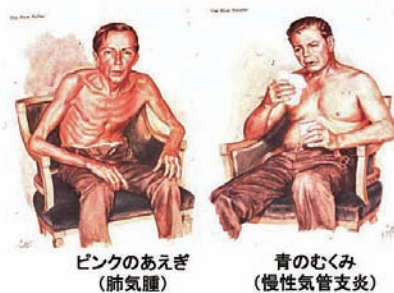
## 慢性閉塞性肺疾患（COPD）について ～その1～

### COPDはどんな病気？

今回から6回にわたってCOPDについて解説します。COPDとは、英語のChronic Obstructive Pulmonary Disease（慢性閉塞性肺疾患）の頭文字をとったもので、WHO（世界保健機構）のガイドラインに基づいて、**肺気腫と慢性気管支炎**の2つの病気をまとめて呼ぶようになった名称です。しかし、そのすべてがCOPDではなく、両者のうち**息を吐きにくい状態（閉塞性）になった場合**のみCOPDと診断されます。肺気腫と慢性気管支炎である人は、将来的にCOPDになる可能性があります。

呼吸器の病気の病変の部位は、主に空気の通り道である**気管支**と、酸素を体の中に取り入れる**肺（肺胞）**に分けられます。慢性気管支炎は太い気管支の慢性の炎症で、2年以下3ヶ月以上咳と痰が続く病気です。一方、肺気腫は細い気管支（終末細気管支）から肺胞の壁が破壊されて非可逆性（元に戻らない）に拡大する病気で、年をとると肺は気腫化します。

日本人のCOPDの多くは肺気腫で、体型は図左のように**“やせ”**て、肋骨が洗濯板のように浮き出ます。血液に酸素と結合したヘモグロビン（血液の赤血球にある酸素を運搬するためのタンパク質で、酸素と結合すると赤色を呈します）が多くなるため**皮膚はピンク色**となり、大きな呼吸ができずに**“あえぐ”**ような呼吸をするため、“**ピンクのあえぎ**”と呼ばれてきました。肺気腫は**潜在性（症状が出ない）**に進行するため、息切れなどの症状を自覚した時はかなり進行しています。一方、慢性気管支炎は、図右のような体型を示し、酸素と結合していないヘモグロビン（青色を呈します）が多くなるために**皮膚は青く**なり、心臓の動きが悪くなって**むくむ（浮腫）**ため、“**青のむくみ**”と呼ばれてきました。また、COPDの約20～40%が気管支喘息を合併していると報告されています。



★次回はCOPDの息切れについて解説します。

東京医科大学 八王子医療センター呼吸器内科 一和多 俊男

ちょっとお耳を……

## 地域包括支援センターをご存知ですか？

地域包括支援センターとは、ひとことで表現すると「**高齢者よろず相談所**」で、対象者は高齢者とその家族です。介護保険法の規定により市町村が設置するもので、八王子市では市の委託を受けた法人が運営していて、「高齢者あんしん相談センター」の愛称が付けられています。主な業務内容は**（1）包括的支援事業**と**（2）指定介護予防支援**の2つがあり（1）包括的支援事業はさらに①～④の4つに分けられます。



### （1）包括的支援事業

#### ①介護予防ケアマネジメント

おおむね65歳以上の方で、体力の低下や認知症などのために日常生活を営むのに支障のある方を対象に、転倒予防・認知症予防などの介護教室を行っています。

#### ②総合相談支援

高齢者のよろず相談に対応しています。医療、介護、福祉に関すること以外にも、高齢者の生活に関連することであれば何でも相談できます。専門的な支援が必要な場合には、必要な機関（病院・警察署・消防署・市役所など）との連携を行っています。

#### ③虐待の早期発見・防止などの権利擁護

権利擁護のための成年後見制度の利用や、虐待防止のための老人福祉施設入所などを円滑に進めるための支援を実施しています。また、訪問販売などによる消費者被害に関する相談も行っています。

#### ④包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域の高齢者へ適切な支援が行われるように、医療・介護・福祉サービスを提供する人たちを対象として研修や助言を行っています。

### （2）指定介護予防支援

介護保険の要支援認定を受けた方を対象に、介護予防サービスを適切に利用できるように、心身の状況や生活環境等を考慮して、介護予防サービス計画を作成しています。

地域包括支援センターは要介護認定の申請窓口を兼ねているので、相談の結果、介護サービスが必要と判断された場合はその場で手続きすることも可能です。**訪問相談も実施**していますので、困ったことがあれば、まずは電話で問い合わせてみるのもよいでしょう。身近にある公的な相談窓口を有効に活用しましょう。

執筆薬剤師 添石 遼平